



令和6年度 稲敷市立江戸崎小学校 グランドデザイン

茨城県総合計画：活力があり、県民が日本一幸せな県
県学校教育指導方針：すべての子どもの可能性を引き出す活力ある学校づくり
稲敷市基本理念：郷土を愛し、未来にはばたくしなやかな人づくり

学校教育目標

やさしく かしく たくましく 生きる児童の育成
～一人一人が輝く活力ある学校づくりを目指して～

目指す児童像

- 相手を思いやり、協力する子
- 善悪の判断ができ、ルールを守って生活できる子
- 共に学びあい、力を伸ばす子
- 元気なあいさつができる子
- 健康で体力があり、よく働く子
- 失敗や困難にくじけず、たくましい子

目指す教師像

- 教職に対する強い情熱を持った教師
- 明るく、児童一人一人を大切にする教師
- 自ら学び続け、指導力のある教師
- 協力し合い、チーム力の高い教師

経営理念

笑顔あふれる学校 あったかい学校 安全・安心な学校

経営方針

- 子ども・教職員・家庭・地域、みんなの笑顔のためにある学校
- 子どもも教職員も一人残らず「チーム江小」 師弟同行
- 安全で、安心して学べる学校



スローガン

「みんな笑顔」になる「あいうえお大作戦」
あいさつ いっしょうけんめい うれしいこと・ことば えがお おわりまで・おわりよし

組織目標

- 「みんな笑顔」になる「あいうえお大作戦」の具現化
- 自分の考えを表現できる児童の育成



学びづくり

- ＝研究テーマ＝
自分の考えを表現できる児童の育成
～他者との協働により考えを深める学習の工夫～
- ① 分かる・できる授業づくり（インプット、アウトプット）
・江小授業スタイルの共通実践（視覚化等のユニバーサルデザイン、課題提示と教材教具の工夫、ペア・グループ活動の工夫）
※試行錯誤、インプット
 - ② 「個別最適な学び」の実現と基礎・基本の定着
・タブレット端末、eライブラリの活用による学びの個別化
・TT、少人数指導による個に応じた指導の充実
 - ③ 思考力・表現力の育成・「協働的な学び」の工夫
・自分の考えを表現する時間と場の意図的な設定 ※アウトプット
・言語活動の充実（記録、説明、他者説明、考察、※振り返り）
 - ④ 学習規律と習慣の確立（準備、聞き方、話し方、ノートの取り方）
 - ⑤ 読書習慣の確立

心づくり

- ① 思いやりの心を育む笑顔の学級づくり
・子どもが主役となる係、学級活動の工夫 ・あったか言葉の推進
- ② 道徳教育と人権教育の充実
・「思いやり」と「善悪の判断」を重点とした、教育活動全体を通じた横断的な指導
・「考え、議論する道徳」の授業づくりと授業公開
- ③ 児童の実態把握と早期の組織的対応
・生活アンケートに基づく教育相談 ・児童の自己有用感の育成
・Q-U調査を生かした指導 ・不登校への組織的・継続的な指導
- ④ 体験活動の充実・SDGsの視点を取り入れた実践
・生活科、総合的な学習の時間 ・地域体験 ・畑づくり
・ゲストティーチャーとの交流 ・ふるさと学習推進事業
- ⑤ 児童会活動の充実
・児童の考えで、児童の手によって工夫改善する活動の推進

からだづくり

- ① 安全教育の充実
・登下校時の安全確保（教師、地域、保護者、児童の役割分担）
・児童による安全マップ作成 ・ジュニア防災検定への取組
・避難訓練（地震、火事、不審者、竜巻、下校時）
- ② 保健指導、健康教育の充実
・学級における計画的な保健・安全指導と食指導の実践
・養護教諭・栄養教諭による学級指導や健康教室の実践
- ③ 基礎体力づくり
・体育委員会による業間遊びの企画と実践 ・縄跳び
・スポーツチャレンジへの参加 ・体育の時間の5分間走
- ④ 行事を生かした体力向上月間の設定
・運動会 ・持久走記録会 ・縄跳び記録会
- ⑤ 安全点検
・月1度のチームによる安全点検と清掃時等における常時確認

特別支援教育を充実させた学校づくり

- 自立と社会参加に向けた特別支援教育の推進
・UDの視点を取り入れた授業と学級経営の充実
・特別支援学級における一人一人に優しい指導
・合理的配慮に基づいた個に応じた指導の充実
・教職員間の共通理解・連携のもとでの共通実践
・教員の専門性を高めるための校内研修の充実
・校種間における個別の教育的支援の円滑な接続

安心・安全な学校づくり

- 登下校時の安全確保
・登下校時の安全指導の徹底
- 学校安全教育の充実
・茨城県指定研究の成果の継続実践と改善
・中学校区連携による合同避難訓練の実施
- いじめ・問題行動等へのチームによる迅速な対応
- 感染症及び熱中症への適切な対策

教職員の資質向上

- 信頼される教職員
・校内研修及び授業研究の充実による指導力の向上
・コンプライアンス意識高揚のための研修の充実
- 働き方改革の推進（達成目標）
・超過在校時間月45時間、年間360時間への意識改革（100%）
・定時退勤日の実施【月4回】年休取得【年間15日】（80%）
・個人の在校時間の短縮【45時間超過者の前年比10%減】